



大阪市立

東小路小学校

校長名	佐野 健一
所在地	生野区小路東3-8-15
電話番号	06-6751-4465
FAX番号	06-6751-9397



通学区域外(校区外)からの 受入可能人数(目安)	20人～29人程度
学校公開日※	9月18日(金)13:40～14:25 10月3日(土)9:40～10:25(作品展)
学校説明会※	9月18日(金)13:00～13:30

※学校見学および学校説明会は学校選択の参考にご活用いただくもので、参加は任意です。なお、入学直前に開催する入学説明会とは別のものでご注意ください。



校長先生のメッセージ

東小路小学校では、みんなが安心できる居場所のある学校にするために、互いのちがいを認め合い、ともに学び支え合える集団をめざして、チーム東小路として教職員・児童・PTA・地域が一体となって日々の教育活動が充実したものになるよう取り組んでいます。

教育目標・重点目標・校訓・めざす子ども像

教育目標

みんなが安心できる居場所のある学校
～ちがいを認め合い、ともに学び支え合える集団をめざして～

重点目標

学校・家庭・地域が三者一体となって自己肯定感を持つ子どもを育てる教育活動を推進する。

校訓

正しい子 明るい子 強い子

めざす子ども像

- 自分も人も大切にする子
- 自分でしっかり考えて行動する子
- 自分の思いや考えをすんで表現したり、発表したりする子
- 失敗してもくじけず、何度でも挑戦する子

主な学校行事

4月	入学式
5月	避難訓練（火災）修学旅行 避難訓練（地震）・防災学習
6月	避難訓練（地震）・防災学習
7月	5年林間学習（神鍋高原）
9月	東小路ドリームランド
10月	作品展 運動会
11月	避難訓練（台風）
1月	避難訓練（地震・津波）6年卒業遠足
2月	卒業生を祝う会 6年茶話会
3月	卒業式

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

種目別平均値 全国・大阪市の調査結果については、12ページをご覧ください。

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	17.58	20.38	31.71	38.35	49.78	9.25	157.74	22.21	53.83
女子	16.46	15.17	36.25	33.71	33.54	9.72	137.63	10.88	49.71

結果概要

【男子】合計点は国、市平均ともに上回りました。アンケートでも「運動やスポーツをすることは好き」との回答割合は100%で、1週間の総運動時間も長いという結果となりました。

【女子】合計点は国、市平均ともに下回り、アンケート「運動やスポーツをすることは好き」との割合も女子は約7割強と低く、1週間の総運動時間も短いという結果となりました。

標準服はありません

令和7年度全国学力・学習状況調査

全国・大阪市の調査結果については、12ページをご覧ください。

平均正答率（％）

	国語	算数	理科
	66	60	56

結果概要

【国語】平均正答率は国平均を若干、下回ったものの、市平均は上回りました。分野別では「読むこと」「書くこと」は国、市平均と同等もしくは下回りましたが、「話すこと」「聞くこと」では国、市平均を上回りました。
【算数】平均正答率は国、市平均を上回りました。内容を見ても、「データの活用」の分野以外では国、市平均を上回りました。
【理科】平均正答率は国平均を若干、下回ったものの、市平均は上回りました。内容では、「エネルギー」「粒子」といった分野では国、市平均を下回ったものの、その他の分野では国、市平均と同等もしくは上回ることができました。
【共通】回答が空白となってしまった箇所の数も国、市平均を下回ったことから、粘り強く問題に取り組む姿勢がみられました。なお、アンケートでは、入眠時刻や自己肯定感といった点では国、市平均を下回りましたが、「学校に行くのは楽しい」と答える児童の割合は国、市平均を上回っていたことから、学校生活が充実していることがうかがえました。

取り組みの成果と課題、アクションプラン

【国語】4・5年生では「日本漢字検定」を実施するなど、目標をもたせて漢字や熟語の習熟に取り組むことで「どのような場面で、誰に対して、どんな目的で」言葉を使うか、の能力がさらに伸びるように取り組みます。また、課題である「読むこと」「内容を理解、整理して活用する力」については、自分で調べたことをまとめ、プレゼンテーションする機会を多く設けることで能力を伸ばしていきます。
【算数】タブレット端末を活用し、一人一人に合わせた指導を充実させていきます。また、子どもたちが「自分で考え、自分から表現する力」が伸びるよう、さまざまな取組に努めていきます。
【理科】実験や観察といった体験型学習の充実にも努めていくなど、楽しい、わかる理科学習の充実にも努める。
【共通】学校全体として、「みんなが安心できる居場所のある学校」づくりをめざし、児童会による活動を中心に、一人一人が「なくてはならない存在」であることを、あらゆる場面で捉えて自覚させるような取り組みのもと、自己肯定感が高まるよう努めていきます。

取り組みの成果と課題、アクションプラン

●児童が「体育の授業が楽しい」と感じられるよう、準備運動でBGMを流したり、ゲーム要素を多く取り入れたりといった工夫を行っています。 ●1月には、休憩時間を活用した「なわとび週間」を行っています。個人の目標を決めさせたり、音楽に合わせて跳ぶといった工夫により、なわとびの楽しさを感じてくれるようになったようで、他の時間でも自主的に練習する姿が見られるようになりました。中～高学年のジャンプ力の向上はこれらの取組が実を結んだものと考えております。 ●女子の運動に対する抵抗感課題ですので、いろんな工夫を盛り込み、運動に親しんでもらえるよう取り組んでいきます。

運営に関する計画

計画のエッセンス

教職員がゆとりをもって子どもたちと向き合えるようにし、確かな学力をつけることで自尊心を高め、一人ひとりの個性が輝きを増すように互いの人権を尊重し、決していじめを許さず、地域に根差した安心で安全な学校づくりをめざします。

中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

●令和8年度の小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、86%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

●小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、82%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

●小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意していますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動

異学年交流でみんななかよし!!

異学年交流として「たてわり班活動」を行っています。1～6年生の児童で編成した班で、毎週木曜日の児童集会をたてわり班で活動をしています。「東小路ドリームランド」では、子どもたちが作ったお店を回って遊びます。また、全学年の絆を深めるために「東小路なかまの木」を作り、みんなの目につく場所に飾っています。



家庭・地域等との連携

PTAと地域の力で子どもたちを育む

2年生は、校区の「まち探検」に出かけ、地域のお店の方々とのふれあいを設けています。その際、グループごとの活動のため、保護者の方々にも見守りをお願いしています。

4・5年生では「地域の方々とのふれあい授業」としてグラウンドゴルフを行っています。

こうした活動を通じて地域のみなさんに学校のことを知っていただく事が、子どもたちの安心・安全につながっています。



家庭・地域等との連携

みんなで作る作品展

毎回、どの学年の絵画も立体作品も力作ぞろいの作品を展示しています。

土曜日に開催しておりますが、子どもたちがお互いの作品を鑑賞するのももちろん、ご家族や地域の方々にも鑑賞していただいています。

